

この夏流行りの グランピングへ挑戦

今、アウトドアがブームになっている。お手軽なバーベキューをはじめ、トレッキングや登山、トレイルランなど自然と戯れるアクティビティが流行している。なかでもアウトドアの王道といえば「キャンプ」なのだが、キャンプは道具を揃えるのが大変だし、テントやタープの設置、薪割り、火起こしなど、初心者が始めるにはなかなかハードルが高い。そこで注目されているのが「グランピング」だ。

グランピングとは、趣味的なとか、華やかな、を意味するグラマラスとキャンプを組み合わせた言葉。富裕層に向けた高級なアウトドアリゾートを中心に、キャンプテイストの宿泊施設で過ごすことがグランピングと呼ばれていた。日本ではここ数年でブームが到来し、大手のリゾートホテルが参入している。早い話、キャンプ道具などを一切持ち込むことなく、テントの設置や道具のセッティングも必要なく、キャンプの美味しいところだけを味わえる、究極のお手軽キャンプともいえる。

今回調べて来た岐阜県は、この高級のOPは、お手軽とは言



クルマ × アソビ グランピングに行こう

せっかくSUVを手に入れたのなら、ふさわしい場所に遊びに行きたい！
というわけで、究極のお手軽キャンプである、グランピングを体験してみた。

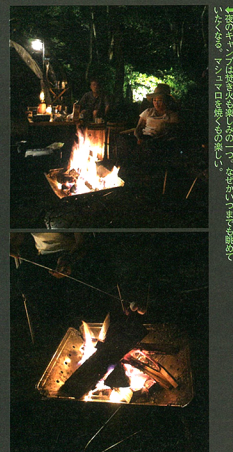


いながら、森の中の本格的なキャンプ場、キャンプサイトにはスタッフやテント、タープ、焚き火台や薪割など、全てをセッティングしてくれるので、到着してすぐにのみで済む。宿泊はテントだけではなく、敷地内に建てられたコテージに泊まるのもあった。キャンプのお楽しみであるバーベキューも、食材は全て揃えてもらえるので、コテージに備えられたバーベキューグリルで楽しむ。

SUVの申し分ない、とほめてるものの、ほとんどのグランピング施設は、キャンプ場やテントの設置場所まで車で入る必要はなく、駐車場まで車を停めておくだけでいい。当然、駐車場も広く、きれいに保たれているので、慣習中や初心者でも安心して利用できる。



★テントでの宿泊が不安なら、コテージに泊まることもできる。
※4人から最大10人まで宿泊でも、バスルームも完備。



★夜の食事はコテージでバーベキューを楽しむほか、空間などの設備が整ったテラスで楽しむこともできる。



★大型のテントは居住空間が広く快適。この広さなら大人4人でも窮屈には感じない。ここで宿泊もできる。



★これまでの道具を揃えるのはなかなか大変だし、慣れていないと設置にもかなりの時間がかかってしまうだろう。



★テントやタープなどは全てスタッフが設置してくれるので、道具の用意も、設置の知識がなくでも大丈夫。

本気の遊びには 本気のクルマが似合う

もっとSUVらしい遊びを楽しみたい。ということ、早起きして近くの林道へ。アスファルトとは違う、でこぼこした道を踏みしめて、森の中を走るのは、普段では味わえない爽快感だ。

今回撮影で使用した車両は、オフロード系のカスタムパーツメーカー「JAOS」が製作したトヨタ・プラド。30〜40mm程度の初フ

トアップサスペンションキットを組み込み、マッドガード、スキップトバー、オーバーフエムダーを装着して、オフロードを意識したカスタマイズが施されている。

このプラドに装着されているホイールは、ホイール専門メーカー「WORK」から発売されている「CRAGT-GRABIC」(クラック ティレグラビック)。ラリーやオフロードレースに出場していた車両に装着されている、コンベーションモデルを忠実に再現した力強いデザインが特徴。サイズは15〜17インチで、軽自動車

から大型SUVまで様々な車種に対応している。このホイールにオフロードもこなせるオールテレインタイヤを装着することで、荒地やぬかるみでも安心して走ることができる。

朝霧が立ち込める森の中は、ゆくり走るだけでも十分楽しい。普通の乗用車では入り込めない場所を走れるのはSUVだからこそ。たまには山の中で、ゆくり遊べすのもいいものだ。



もっと クルマで遊ぼう

ラルマ × アンビ
グランピングに行こう



①



②



↑オフロードを走る楽しさは、アスファルトとは違う、地面を踏みしめる感覚を味わえること。非日常を楽しむ感覚だ。

●プラドに装着されているホイールはWORKのCRAGT-GRABIC。装着サイズは17インチのR10。ディスクのカラーは独特の存在感を放つ「アッシュドチタンカトリム」。他にも「マッドカーボンカトリム」のカラーもラインナップする。

①JAOSフロントスキッドバー ブラック/プラスト (¥62,640〜) 強靭さとスタイリングを両立したフロントスキッドバー。バーとプレート部分のカラーは4パターン。②オーバーフエムダーtypeX (¥73,440) 片側10mmアンダーというタイトなサイズながら、タミーホルトによるスバルタンなデザイン。③JAOSマッドガードⅢ(フロントセット、リアセット、各¥17,280) 大型マッドガードの書き込み・巻き上げをPPベルトとフラップ下縁のジェットホールで軽減。